

所属	看護学研究科 看護学専攻 修士課程 看護マネジメント学分野	修了年度	平成 28 年度
氏名	上田 一実	指導教員 (主査)	林 美奈子 (土井 徹)

論文題目	手術室看護師の医師との協働認識に影響する要因
------	------------------------

本文概要

目的: 手術室看護師の医師との協働の認識と、その協働認識に影響する要因および社会的スキルとの関連を明らかにする。

方法: 対象は、全国 300 床以上を有する病院で承諾の得られた手術室看護師(以後、手術室と略す)と同施設の一般病棟看護師(以後、一般と略す)である。自記式質問調査用紙による量的研究であり、解析には IBM SPSS(Ver. 24forWindows)を使用した。

結果: 承諾の得られた 52 病院の手術室と一般の計 1914 名に調査用紙を配布した。分析は、有効回答の手術室 418 名、一般 416 名の計 834 名とした。手術室と一般とでは一般の方が医師との協働認識は高かった。手術室が一般より高かったのは看護師の専門性の認識であった。また、手術室の医師との協働認識に影響していると考えられるのは、年齢が高いこと、看護師経験が長いこと、勤務年数が長いこと、飲み会・食事が少ないこと、手術室経験が長いこと、WHO 手術安全チェックリストを実施し、器械出し・外回りの時会話をする看護師であった。社会的スキルおよびその他(初歩的なスキル等)の項目のほとんどが、手術室の医師との協働認識に影響を及ぼしていた。

考察: 手術室の役割は、診療の補助であり手術の専門的知識や技術の提供が求められ、療養上の世話はほとんど求められない。手術室の協働認識が一般より低かったのは、医療行為である手術の責任者の医師の指示が優先される必要のある手術の場という環境であるため低かったと考える。手術室の専門性の認識が高かったのは、一般との役割・業務の違いからと考える。また、手術成功という成果はモチベーションを上げるため、フォーマルな場での良好なコミュニケーションの機会の方が協働認識の促進に影響すると考える。互いの協力への認識と対人関係の円滑さが影響し合うことで、社会的スキルの向上をさらに促し、医師との協働認識の高まりへと進むと考える。

結論:

- ・手術室は、一般よりも協働の認識が低い、専門性の認識は高かった。
- ・手術室の協働の認識に影響する要因はインフォーマルな場よりもフォーマルな場での良好なコミュニケーションの機会であった。
- ・社会的スキルを身に付けているほど協働認識は高まる。

キーワード: 手術室看護師, 協働認識, 社会的スキル, 影響要因